

おおさか 小さな親切

毎月1回1日発行 定価60円
 発行者 大野正利
社団法人
 発行所 「小さな親切」運動
 大阪本部
 〒 542 中央区日本橋1-3-11
 -0073 はりまや日本一ビル3階
 TEL・FAX 6212-6095
 印刷所 株式会社日報印刷

Happy New Year



今年もよろしくお祈いします

2012年 元旦

大阪本部代表理事 大野正利

絆(ぎずな)について考えてみよう

日本漢字能力検定協会が昨年末、この一年を表す漢字を全国から募集して、一番応募の多かった字が「絆」でした。2位の「災」を大きく引き離しました。これは、東日本大震災や台風被害が続く中で、人が助け合ったり、世界から支援が寄せられた中で人と人との「絆」の深まりを感じた人が

多かったからだと思われる。アクサ生命保険(東京)が昨年6月、20〜59歳の男女1万人を対象に行ったインターネット調査で、震災による価値観の変化について尋ねたところ、67%が「人とのつながりの大切さを意識するようになった」と答えています。日本中、どこへ行っても、「絆」、「ぎずな」

の言葉が溢れかえっています。一体、この現象をどう見たらいいのか考えてみることにしました。まず、大阪市天王寺区下寺町にある應徳院代表の秋田光彦さんにご意見を伺いました。應徳院は、秋田さんが住職をしておられる隣接する浄土宗大蓮寺の塔頭(たつちゅう)です。ここで

は、ほぼ毎週、演劇などの公演があり、若者を中心に年間3万人が利用しています。少子高齢化による檀家の減少、若者の宗教離れ、お寺は今、市民との接点を探っているのです。秋田さんは仏門に入る前、映画プロデューサーをされた経歴を持っておられます。秋田さんは、こう言っておられ

(次ページへ続く)

まちかど

昨年東北を襲った大災害に対して日本全国はもとより、世界各国からの大きな救援は落ち込んだ人々の心に光と力を与えられたことと思います。東北の人々の我慢強さ、力強さは歴史が語っていますが、思いがけない大災害にも復興を期して日々努力されています。災害後、間もなく連絡がとれて話し合った時にもみんな元気な様子でほっとしました。

このところ地球の変動期なのか世界のどこかで災害が起きています。世界は今や争っている時ではなく、授けあって、幸せに平和に生きることを目標に話し合い、叡智を結集することのように思います。

新しい年に新たな思いで生きることを一人、ひとりの心に刻み、「小さな親切」からはじめることを心掛け実践したいものです。

地球は一つ、人生は一度ですから心して日々を暮らしたいと希います。(高力)

この欄は、福富修(高槻市和楽クラブ会長)高力寿美子(ガールズスカウト日本連盟顧問)尼谷義雄(ICD現代デザイン研究所所長)三氏の輪番執筆によるものです。

(前ページの続き)

ます。

「1昨年は、「無縁」という言葉がはやっておりまして。これが、昨年3月以降

「絆」に変わりました。しかし、「絆」という言葉を強調するあまり、「絆」の本質がこぼれていつてるような気がします。「絆」を連呼し、この言葉に酔いしれているような感じですが、これは、「絆」にとっても決して嬉しいことではありません。今、必要なことは、「絆」の再構築です。今回の大震災で、家族優先の意識が一気に高

まったといわれています。それは、それでいいのですが、現実には、単身家庭で、老人の「一人暮らし」が意外に多いのです。

そこで、必要となってくるのが、地域社会の「絆」の再構築です。何かあったとき、近くに住む一人暮らしのお年寄りが無事かどうか、きっちり見守る「絆」の構築を早急に確立する必要があるとあります。」

私も確かに、秋田さんのおっしゃる通りだと思えます。そして、地域社会の再

「絆」にとっても決して嬉しいことではありません。今、必要なことは、「絆」の再構築です。今回の大震災で、家族優先の意識が一気に高

まったといわれています。それは、それでいいのですが、現実には、単身家庭で、老人の「一人暮らし」が意外に多いのです。



関西プレスクラブで講演する 大林組会長・大林剛郎さん

構築に欠かせないのが「小さな親切」です。家族が近くにいらつしゃらない一人暮らしのお年寄りを地域のみんなで守っていききたいと思えます。

「世界一でなければならぬのですかといわれた大臣もいらつしゃいましたが、世界一になれば、人も集まるし、経済的にも活気づきます。私も、世界一を目指します。」

メッセージ広告共通テーマ 「人に親切」「地球へ親切」「町おこし」

企業 団体

読売新聞大阪本社は今秋、発刊60周年を迎えます。「読者・地域とともに歩む最大の全国紙」として、読者の皆様との対話を大切に、信頼と期待に応える新聞づくりを進めます。

北区野崎町 読売新聞大阪本社
☎06・6361・1111

「タクシーがつなく 人の輪 地球の輪」
私たち大阪タクシー協会はお客様への「小さな親切」を大切に 安全 安心 快適なタクシーを目指しています。

中央区博労町 社団法人大阪タクシー協会
☎06・6125・5400

親切係のバッジを胸に 心のこもった活動を続けて35年地域の皆様との心のふれあいを大切に、これからもがんばります。

高槻市北柳川町 医療法人仙養会北摂総合病院
☎072・696・2121

災害は「自助」「公助」「共助」
地域で築こう「共助」の心
つながろう日本！がんばろう日本！

西区鞆本町 株式会社日報印刷
☎06・6445・6888

カウンセリングは、あなたの心と相手の心とが真に響きあったと信じられる体験を目指していく学びです。

北区東天満 財団法人関西カウンセリングセンター
☎06・6881・0300

昨年の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。
私たちは「小さな親切」を通して皆様の安全と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

北区梅田二丁目二二
株リラックス・コミュニケーション大阪支店
☎06・6346・5305

オムライスは、おいしさを包んだ料理です。
 「小さな親切」は、やさしさを包んだ行為です。
 私たちはオムライスで、そのおいしさと優しさを広げて
 います。

中央区難波 北極星産業株式会社
 ☎06・6632・1591

卵は、溢れる生命の泉です。

私たちは、この安心・安全な「こだわり卵」で
 「小さな親切」を日本中に広げています。

北区天満橋 セラ・ルージュ
 ☎06・6882・1335

「麺の力で日本を元気に！」を合い言葉に
 新年は「うどん県」から「年明けうどん」で
 皆様の幸せをお祈り致します。

香川県宇多津町浜三番町三六一一 株式会社めりけんや
 ☎0877・49・6111

「当たり前前のごきちんと出来る」「身の回りを整理整
 頓出来る」「節約が好き」未来にやさしい環境づくりを
 目指して、日々努力しております。

堺市中区深井中町 株式会社河野電設 河野 賢
 ☎072・270・7541

お客様の喜ぶ顔が見たい。料理も「小さな親切」運動も
 同じ心から始まるのではないのでしょうか？
 これからも私たちは、おいしくて安全な食事を提供して
 まいります。

中央区 株式会社魚国総本社
 ☎06・6478・5700

ありがとうの言葉 恥かしがらずに
 感謝の気持ち表そう
 あなたの笑顔 ほっとする気分になれて
 ありがとう

吹田市 粕谷敏子

自販機を通して一杯のやすらぎをお届けする
 アベックスは、豊かな自然との共存を目指し環境活動に
 最善を尽くします。
 容器分別にご協力を！

福島区吉野 株式会社アベックス西日本
 ☎06・6448・1104

タイルには顔があります。それは人に優しい顔です。
 平田タイルはその優しさを親切運動で広げています。

西区阿波座 株式会社平田タイル
 ☎06・6532・1239

個人

まず席を 譲る心を
 子に教え

中央区日本橋
 大野正利

みんなで築こう

「モットイナイ」の精神を

堺市南区 上田 穰

親切は受けて嬉しい

すればなお

中央区 じゅげむ
 西森佐良子

ポイ捨てタバコ
 肩身が狭いと
 怒っている

姫路市城北新町
 福島正勝

共生の和に育む親切心
 榎原市中町 末吉栄三

目の前の出来ることから「小さな親切」
 ちよっととした心遣いが
 「小さな親切」
 西宮市甲陽園 鈴木和巳

席を譲られたら

ありがとうの挨拶を

奈良県 恵谷 繁

「小さな親切」は
 冷えた心に

ポツと暖かな灯をともし
 阿倍野区 尼谷義雄

譲り合い 今日も

いいこととした気分

長岡京市 今西康人

海外に誇れる

大阪発祥の乙女文楽
 日本の伝統文化を
 守ります

東住吉区「光華座」
 吉田光華

大阪から素晴らしい
 芸能と文化を発信して、
 町おこしに頑張ります
 よう。

北区 浦川ともみ

津軽三味線で二度目の
 文科学大臣賞受賞
 三味の音色で
 笑顔を伝えます
 城東区 高橋静女
 会主・高橋静女

人に暖かい街にするのが
 町おこし
 神戸市 橋本由紀

広げよう

子ども見守る
 暖かさ

神戸市 浅野あや

「小さな親切」から
 人の輪を広げよう

神戸市 下坂龍志

親切が作るいい社会

エコが造るいい地球

みんなで守ろう
 子どもの未来
 芦屋市 渡邊安彦

ゆずりあい

今日もいいこととした気分
 住吉区
 まごころ料理 つる井

澤井哲治

日に一度

ほめて育てる小さな子

北区 堤 卓爾

絵本「がんばろう日本」

自然災害から身を守ろう

大阪本部 大発

自然災害から
身を守ろう

発行 財団法人小さな親切
運動 大阪本部



どうしたら生き残れるか 希望者に進呈

73人、行方不明者は19人になっていきます。

この未曾有の大災害の教訓から、文部科学省は、児童・生徒達が自主的な判断で安全な場所へ避難出来るよう「防災教育」の全面的な見直しを決めました。「どうしたら生き残れるか」を自身で判断し、避難行動が出来ることを目指しています。そのため、すべての学校に、防災知識を持つ教員の配置を進める方針です。

なんども津波被害を受けてきた東北の三陸地方には「津波でんこん」という防災心得があります。たとえ親子がばらばらになっても高台へ逃げる、という意味で、釜石市では各学校で徹底されており、学校にいた生徒達の全員がそれぞれ避難し、無事でした。

そこで、私も財団法人「小さな親切」運動大阪本部は、この度、災害に襲わ

れた時、どうしたら生き残れるか！を明記した「がんばろう日本 自然災害から身を守ろう」の絵本を発売することにしました。地震編、風水害編に分かれており、分かり易く書かれています。この資料は、国土交通省の「防災白書」、千葉市の「わが家の危機管理マニュアル」、独立行政法人国立環境研究所などの資料を参考にして作られました。また、動物イラストレーターの佐藤邦雄さん（大阪在住）のご協力も頂きました。いざという時、「どうしたら生き残れるか」を自身で判断し、避難行動をするためには、日頃から正しい防災知識をたくわえて置くことが大切です。どうか、この機会に、この絵本を読んで身を守ってください。ぜひ、読んでみたいという方には進呈致します。ただし、送料は着払にさせていただきます。



関西から
文化力
POWER OF CULTURE

「子育て応援」の相談を希望される方は、次の方法でご連絡ください

(携帯電話のEメールでも相談を受け付けます)

インターネット・アドレス <http://www.osaka-sinsetu-undo.org/>

メール・アドレス sinsetu@galaxy.ocn.ne.jp

ファックス番号 (06) 6212-6095

財団法人関西カウンセリングセンター「子育て応援」専用携帯電話

電話番号は、ご相談の連絡を受けた方へ私どもの事務局より、直接ご案内致します。この電話相談は、毎週木曜日午前10時から午後2時まで対応します。

「小さな親切」運動大阪本部は、この度、私どもの会員会社の特別協賛を得て、「がんばろう日本！ 自然災害から身を守ろう」を出版しました。まず3000

部を制作、その一部を東日本大震災の被災地へ送りました。
3月11日の東日本大震災発生から10か月。その復旧・復興も進まないうちに、9

月には台風12号による大水害が日本列島を襲いました。震災による死者は1万5842人、行方不明者は3475人、避難者33万4768人（12月21日現在）。台風12号による豪雨で、洪水や土砂崩れによる被害も、和歌山県、奈良県、三重県などを中心に、全国で死者は

阪 崎 大 釜

行列に目立つ若者の姿 10回目 讃岐うどん歳末炊き出し

財団法人「小さな親切」運動大阪本部は、昨年12月18日(日)、大阪市西成区釜ヶ崎(あいりん地区)で、野うどんの提供は、第1回か



炊き出しボランティアの皆さんありがとうございました



三角公園であつあつのうどん食べる人たち

らずっと、私どもの賛助会員の株式会社めりけんや(本社・香川県宇多津町、JR四国100%出資会社)。

当日は、成房社長をはじめ5人が応援に駆けつけて頂き、午前10時過ぎから地元「勝ちとる会」(中尾春男代表)の協力で、大釜5

つを使って、1500人分の炊き出しを準備。この炊き出しには大阪本部の会員さんをはじめ地元のパランテアの方々を合わせると、40人近くが炊き出しに汗をかいてくれました。

ここでは、連絡しなくても、全国からボランティアの方々が集まってく

れるのが、この日はNPO法人ふれ合い広場「コスモス」(山内教子理事長)の方々も手書きの絵手紙にタオル、靴下、飴をセットした1100袋をうどんの列に並んでいる人たちに手渡しで配っておられました。その他、おにぎり630個も「勝ちとる会」のメンバーが配り、一つずつ受け取った行列の人たちは大喜びでした。

千人以上並んだ行列の一人一人に炊き出したばかりの熱いうどんを差し出すと、「フー、フー」いいながらおいしそうに食べて「この讃岐うどんは日本一おいしい。身体が暖まるばかりでなく、気持ちまでゆったりしてくる」と皆さん満足げでした。「と皆さん満足げでした。」と皆さん満足げでした。

「この声を聞いただけで、私たちの疲れはふっ飛びます。来年また必ず来ます」と言っておられました。

この炊き出しに参加された私どもの会員さんの一人は「不況で苦しい生活を余儀なくされている人は増え続けているが、そこへ行けば食事ができるとい場所を確保することが、今の社

会を安定させるポイント。これからも、こうしたボランティア活動に積極的に参加して行きたい」と話しておられました。

私どもは今年12月16日(日)に、同じところで讃岐うどんの炊き出しを行います。ボランティアの皆様の参加をお願い申し上げます。

大阪本部理事に 杉野利幸氏就任



社団法人大阪青年会議所は、1月1日付で、理事長が池田太八さんから杉野利幸さん(三紀ホールディング株式会社専務取締役)に交替されたのにもない、財団法人「小さな親切」運動大阪本部の理事も今年3月の理事会で、交替されます。

杉野さんは、38歳。青年会議所歴8年。広報委員長、地域守推進委員長などを歴任されています。



大阪本部実行委員

松田 義雄

昨年10月、ウィーン工科大学の招きでデザインの講義をするために行ってきた。ウィーンは「世界で住んでみたい都市」の調査結果が第1位で、第2位がチューリッヒです。ウィーン市内には芸術文化施設が130ほどあり、それぞれすばらしい内容の充実したものばかりです。市の東の方に市を抱えるように緑の山なみがあり、大切に保存されている美しい「ウィーンの森」があり、市民のゆったり寛ぐ場となっています。まちかどで出会った市民は、ゆったりとした顔つきをしていて、せかせかしていないし、道を尋ねても、丁寧に親切に笑顔で答えてくれ

世界一住んでみたい町ウィーン



ウィーン市内の街路樹の中を走る路面電車

る人が多かったのです。また、子どもたちの表情が特別に可愛いのです。愛らしさの中に品があります。ヨーロッパの国々の水道

水は飲まない方がよいといわれ、ミネラルウォーターを買って飲む場合が多いのですが、ウィーン市の水道は、遠いアルプスから引か

れているので、その透明度が非常に高く、清らかで美しく、飲めば絶品で非常においしいです。

さて、ウィーンの公共交通機関は、路面電車と地下鉄とバスがあり、とても便利です。乗車券はすべて一種共通で、有効期間、有効範囲内なら、地下鉄から路面電車へ、さらにバスへといったように自由に乗り換えもできます。(ただし一方

向のみ)。不思議だったのは、駅にも停留所にも駅員さんはひとりもないことでした。乗客は、乗り物の中に設置してある青色の箱型の入鉄機に自分の乗車券を入れて印字してもらおうのです。車掌は乗っていないので、タダ乗りがいくらでも出来るわけです。それなのにウィーン交通機関は黒字だとのことです。公衆道徳心の高さを示しているものです。

ウィーン市の優れた交通事情を視察した、東京都と大阪市の交通局長はこの事実を見て、「ウィーンのようなシステムを実施したら、私らのところは、1日で破産してしまうわ!」と言ったそうです。

「小さな親切」運動大阪本部ホームページ
<http://www.osaka-sinsetu-undo.org/>

（特別賛助会員）年間会費5万円以上を納める法人・団体（賛助会員）年間会費1万5千円以上を納める企業・団体・個人（個人賛助会員）年間会費3千円（1口）以上を納める個人（団体賛助会員）年間会費1人あたり500円を納める団体（10人以上）会員の皆様には、月刊「おおさか小さな親切」をお送りいたします。（送金方法）郵便振替（00900・9・40785）へ。銀行へお振り込みいただく方法もございますので、詳細はお問い合わせください。

使用済み切手を
ありがとう（敬称略）
北摂総合病院▽高槻南平
台千寿クラブ▽安藤忠雄建
築研究所▽中口勝弘（中央
区）▽松本 修（西宮市）

▽渡邊安彦（芦屋市）▽内
林陽子（豊能郡）

「小さな親切」運動に
「ご参加ください」

「個人」のメッセージの一つ
一つをじっくり口づさんで
下さい。何かが伝わって参
ります。▽私どもは、この度、
災害に襲われた時、どうし
たら生き残れるか！を明記
した絵本「頑張ろう日本
自然災害から身を守るう」
を発刊しました。読んでみ
たい方へ進呈します。お申
し込みをお待ちしております。

新年おめでとうございま
す。昨年は、東日本大震災
や台風被害が続く中で、人
が助け合ったり、世界から
支援が寄せられ、「絆」の深
まりを感じた人が多かった
ようです。私たちは「小さ
な親切」運動で、この「絆」
をさらに強い人間同士の結
びつきとし、大阪が世界一
親切な街になるよう努力し
たいと思っております。▽
今年も会員の皆様からたく
さんのメッセージ広告を頂
きました。私どもは、この
メッセージにもありますよ
う「人に親切」、「地球へ親
切」、「町おこし」に引き続
き地道な努力をして参りま
す。皆さん、「企業・団体」、

あともがき